

各委員からは、産業団地に関する企業立地条例について、広野工業団地と東町地区産業団地との違いについて、復興企画課長から工業団地は工場地帯の集積を図る。産業団地は、工場における生産に伴わない幅広いオフィスの誘致を図る。との説明であった。

# 会報告

## 活動状況を報告します

平成30年5月14日(月) 午前開催  
平成30年5月15日(火) 午前開催

# 委員

## 各常任委員会の

総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会

### 外 構工事の発注は 幼保連携認定こども園整備事業

各委員より、これまで施設整備等ハード面の説明に終始していましたが、どのような体制で、どのような教育カリキュラムになるのかソフト面の説明について、さらに本件工事はJVでの施工であるが、外構工事は地元事業所に発注されるのか質疑があった。町より、ソフト面に

### 総務文教 一 一ズに合わせた開発を 広野駅東側開発

各委員からは、新たな商工会館建設予定地について、宅地分譲に関する要望等について、農地転用の同意率と用地買収率の差異について、宅地分譲に関する開発事業の最終目的について、住環境整備に対する民間コンサルタント会社導入について、近代化農業ゾーンの方角性についての質疑があった。担当課長より、商工会館建設予定地については、広野駅自由通路東側に隣接する1、600mの敷地である。宅地分譲に対する要望については、一ズズの把握はしていないが、

### 総務文教 校 舎のイメージアップを図る計画を 広野中学校本校舎での授業再開に向けた取り組み

各委員からは、来年度の新学期における生徒数、広野中学校の耐用年数と改修工事予算、「魅力化検討委員会」の経過について、中学校校舎の耐震検査についての質疑があった。担当課長より、新学期における生徒数は、1年生が16人、2年生が32人、3年生が20人の計68人である。広野中学校の耐用年数と改修工事予算は、2000年に校舎の耐震改修工事を行ったことから、税法上2047年までの耐用年数となる。改修工事の予算は、担当課長から県の負担を求め協議



幼稚園七夕会

### 産業厚生 関 の上線を迂回する計画は 防災拠点・道の駅造成事業

委員より、計画の見直しとして当初開発区域から約4haは中止、ヘリポート他消える事業内容はなんですか、

残土搬出先として北部各町の防災緑地へと理解していたがどうされたのか、国道に面した町道関の上線を迂回する計画について質疑があった。町より、開発区域は約6.9haに縮小、大きくは有事の際活動拠点約2haの防災広場他を、維持管理するには経営的に厳しいと判断し削除、ヘリポートに

### 産業厚生 医 療環境向上推進事業の財源状況は 高齢者対策

各委員より、軽度生活支援助サービスの実施状況及び震災後増加した介護認定者数の推移と対応策について質疑があり、最後に医療環境向上推進事業について、現在の財源状況に関する質疑があった。町より、軽度生活支援助サービス昨年度の実績は2件と少なく今後機会を捉え制度の普及に努めていきます、要介護になる要因は様々あり経過の分析を進め

### 産業厚生 決 算時の基金残高は 国民健康保険制度改訂

各委員より、いつも問題になるのが保険料の未納である、未納金額と対象者は何人いるのか、収納対策について、さらに8町村連携の「収納組織」などについて、県移行時29年度決算時、基金残高について質疑があった。町より、国民健康保険料の未納件数は37件、未納額1052万円(5月15日現在)あり、所管の町民税務課と共同で徴収対策を